

<課題>

- ・学力調査において、思考力・判断力・表現力が特に平均を下回っていて、課題がある。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えて書くことや、文章に対する感想や意見を書いたり伝えたりすることなど、特に「書くこと」が苦手である。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについての読み取りはできるが、登場人物の相互関係や人物像など、情報と情報を結び付けたり、整理したりして正しく読む力が身に付いていない。
- ・言語事項（既習漢字、主語述語、修飾語等）においても、東京都や全国平均とともに下回っており、習熟が必要である。

<特に育成を目指す資質・能力>

- ・語彙を豊かにし、既習漢字を確実に習得させる。
- ・文章の構成を考えながら書いたり、感想や自分の考えをまとめたりするなど、主に書くことを中心とした表現力を育てる。
- ・読む力の中では、特に、読み取った文章の構造や内容をもとに、精査・解釈する力を伸ばす。

<指導方法・体制の工夫>

- ・朝学習や授業の帯時間を確保し、漢字の学習を繰り返し行う。
- ・どの教科でも授業中に感想や考えを書く学習を大切に、文章表現力を育てる。また、日記を定期的に継続して書くこと等で、書くことへの抵抗をなくし、書くことに慣れさせる。

<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く学習を増やし、主語述語などに注意して文章を書く力を付ける。「あのねちょう」を活用し表現力を付ける。 	<p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリル学習は、毎日の国語の学習時に帯時間をとって継続して取り組み、計画的に小テストを行うことで、定着を図る。 ・週末に日記を書く宿題を出し、書くことへの抵抗感を減らす。自由作文やテーマ作文など、書く内容や分量にも変化を加え、適切な文章を書くことができる力を身に付ける。
<p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく読んだり書いたりできるように、小ステップで確認をしながら進め、繰り返し復習して習熟させる。 ・週末に日記を書く宿題を出して、書くことへの抵抗感を減らし、自分の考えを表現したり、構成に気を付けて文章を書いたりする力を身に付ける。 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文、説明文の学習において、単元ごとの目標を明確にし、スモールステップで読む力、書く力を高めていく。 ・漢字学習や意味調べ、視写などに朝学習、授業、家庭学習で取り組み、知識の定着を図る。 ・週末に「自主学習」の宿題を出し、日記を書いたり調べたことをまとめたりすることで書く力を身に付ける。
<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み取る学習では、言葉や表現に着目し、国語辞典をこまめに使用したり、意味や使い方についてその都度、確認したりする。 ・家庭学習を充実させたり、小テストを繰り返し行ったりして、漢字や言葉の定着を図る。 ・週末に日記の宿題を出す際に、テーマなどを指定することで、決められた枠の中でまとめた文章が書けるようにする。 	<p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめ10分は新出漢字の練習と復習ミニテストに取り組む。週ごとに同じテストに繰り返し取り組むことで、着実に身に付けさせていく。 ・「追究ノート」と称し、宿題で週に2、3日程度興味・関心があることについてまとめさせる。好きなことについて調べまとめることで、書くことへの抵抗を減らしていく。